

感性を育む和学講座第26回

～花の卯月・堺の歴史 やまと言葉国学の世界観～

不義理の日

四月一日は軽い嘘が許されるエイプリルフールです。
大正時代に、日本にもエイプリルフールが入ってきました。

しかし、元々、日本では四月一日は「不義理の日」でした。
以前は縁あって交流していたが、ここしばらくはご無沙汰している方に、不義理のお詫
びを伝える手紙をしたためる日でした。

縁があって出会い、仲良くしていた人たちとも歳月を経ると疎遠になったり
することもあります。
不義理の日に、その人たちを思いながら手紙を書くというのも良いかもしれま
せんね。

日本人と桜

京都に「やすらい花」という行事があります。
旧暦の三月十日、新暦では四月の桜の頃に開催されます。
花笠をおしたて、風流な装いで鉦（かね）や太鼓をたたき、踊りながら地域を
歩きます。

旧暦の三月に疫病が流行ったので、花の霊を鎮め、無病息災を祈願するとい
うことと、桜の花が早く散ると稲の花も早く散り、豊作にならないとも伝えら
れていたのです、豊作祈願の意味合いもあります。

やすらい祭、鎮花祭とも言われています。
鞍馬の火祭、太秦の牛祭とともに京都の三大奇祭の一つです。



やすらい花もそうですが、桜と稲の関係は深いと考えられます。桜の花の咲き方で、その年の稲のできを占い、桜が長く咲き美しく散ることを祈ることで豊作を祈願しました。

五月（さつき）、早乙女、早苗などの「さ」と桜の「さ」は田の神を表して思えます。「さくら」は田の神の依り代でもあります。

また、四月に入ると「卯月八日」と呼ばれる民間行事があります。

春から初夏の頃、農事や山野での本格的な活動時期を迎えることから、飲食をして春季到来を祝ったり、先祖供養を行ったりしていました。この日に山開きする地域も多くあり、この一年に亡くなった家族の名を山に登って呼んでくると

いう死者供養を行う地域もあります。亡くなった人の霊は、50年あるいは100年経つとやがて祖霊に変わり、山に宿し、山に降りてきて山の神、農耕の季節には、山から降りて田の神となるという、**日本古来の祖霊信仰**の風習があります。



西日本では**「天道花」**の風習がありました。山で採ったツツジ、シャクナゲ、卯の花などを竹竿の先につけて庭先に立てます。「高花」「八日花」とも呼ばれ、太陽に供える、月と星に供える、お釈迦様に供える（灌仏会との繋がり）、仏に供える、など地域によって様々な言い伝えがあります。

東日本では、この日は農事を忌んで（いんで・忌み嫌うこと）休日としていました。このように、卯月八日は地域によって様々な行事が行われていたのです。形はちがっても、卯月八日は山の神をお迎えするという思想が根底にあったと思われます。

さくらを愛でながら、田畑の豊作を願い、祝う。いわば花の下での宴会は**予祝行事**でもあります。



弥生、卯月になると暖かくなり、人々は山や海に出かけます。山遊びと称して、山に登る、また潮干狩りなどの余暇は山や海での**精進潔斎**。なぜ、精進潔斎が必要なのでしょう。この後に田の神を迎えて行う農事という、大事な祭りのためです。

日本の祭り、行事はほとんどが稲作儀礼と結びついています。

」

堺の歴史

室町時代後期から戦国時代にかけて、小さな町堺は日本で最も有名な町だったことでしょう。

堺周辺には、旧石器時代のころから人が定住し始めています。大和朝廷によって、堺周辺に多くの古墳が造られました。平安時代には、この地が摂津、河内、和泉の3国の境に位置しているところから、「さかい」と呼ばれるようになったのです。



鎌倉時代には、漁港として発展し、やがて海に面していた堺は船で貿易を行うようになります。

種子島で2年滞在して鉄砲の技術を学んだ橘屋又三郎は商人であり、鋳物師(砂や金で鋳型を作り、そこに溶かした金属を流し込んで形を作る技術師)であったようです。

堺の商人は鉄砲伝来より先に種子島、琉球などにも出向き商いを行っていたのでしよう。

鋳物師は、古くから堺周辺に住んでおり、河内鋳物は有名でした。

応仁の乱以降、日明貿易、南蛮貿易で潤っていた堺の商人たちは、鉄砲が持ち込まれて、さらに資産を増やすことになっていくのです。

そのころ、堺の町は自治都市でした。「会合衆」と云われていた豪商たちで統治されていたのです。

環濠に囲まれており、戦国の世でも堺の中は平和だったと外国人宣教師が残しています。

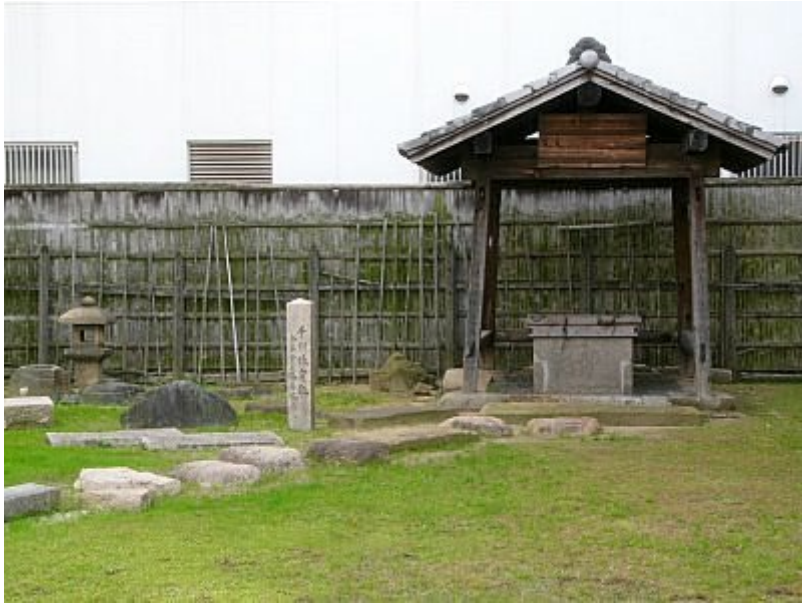
フランシスコ・ザビエルも「東洋のベニス」と堺の活気を本国に知らせています。

豪商たちは、茶の湯に入れ込んでいきます。

会合衆の一人で、鉄砲の製造、販売で莫大な資産を築いた今井宗久は織田信長の茶頭として、織田信長と親しくなります。

千利休も豪商です。茶室では、「茶室外交」が行われていたことでしょう。





死の商人の町であり、茶の湯という文化を生み出した町でもあります。

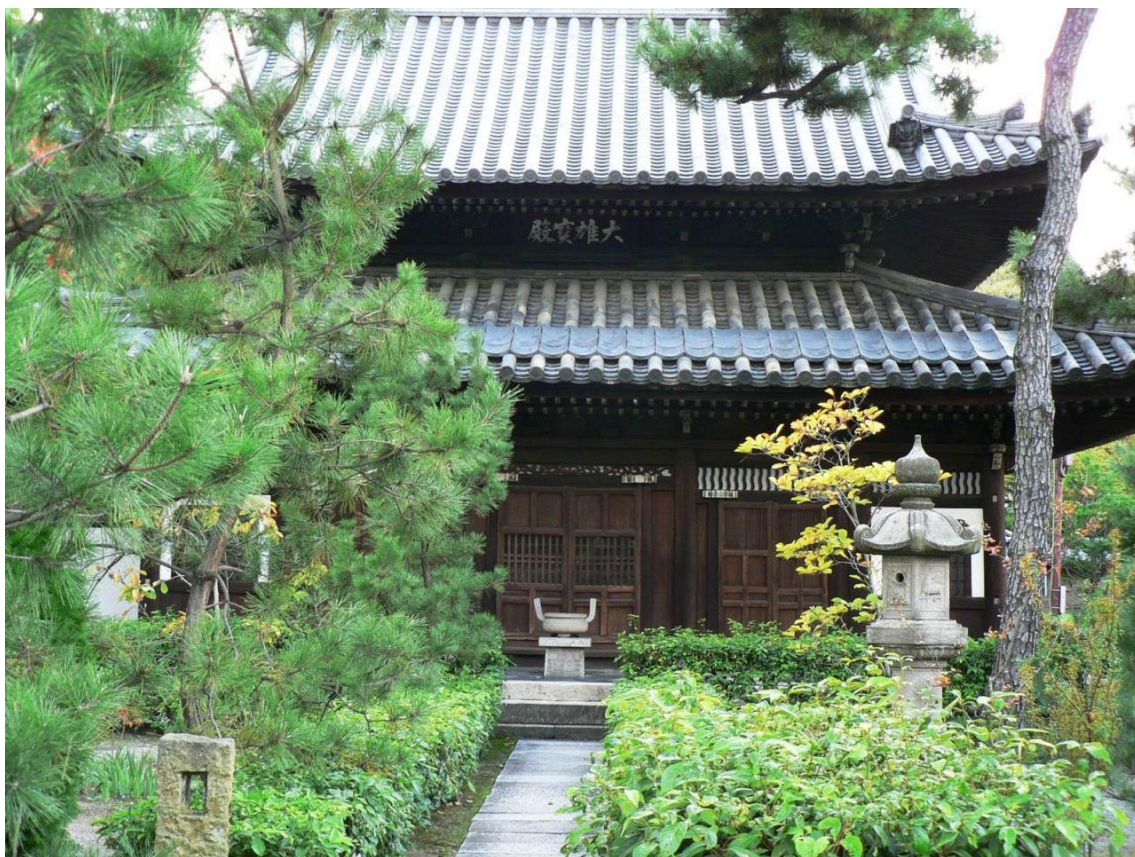
・妙国寺





夜泣きの蘇鉄 本能寺の変 堺事件

・南宗寺



徳川家康の墓

・大安寺



ルソン助左衛門

